

# 第46回 卓球競技実施要項

## 1. 競技種目

団体戦：男子団体・女子団体

個人戦：男子シングルス (一般の部・シニアの部)

女子シングルス (一般の部・シニアの部)

ダブルス戦 (男子ダブルス・女子ダブルス・混合ダブルス)

## 2. 競技規則

大会開催年度の日本卓球ルール及び本大会申合せ事項による。

## 3. 出場資格

- (1) 団体戦については、男女とも1加盟団体1チームとする。
- (2) 個人戦に出場する場合、一般の部とシニアの部のいずれかに出場するものとする。
- (3) 個人戦(男女シングルス)のうち、一般の部は年齢制限がないが、シニアの部は男子は40歳以上、女子は35歳以上希望者とする。
- (4) 個人戦(男女シングルス)、ダブルス戦は参加制限をしない。但し、団体戦に登録した選手はダブルス戦に出場できない。
- (5) ダブルスペア編成については原則として地元優先であること。しかし加盟団体チーム内の大会へ参加する人数によってダブルスのペアが組めない場合、大会競技実施要項規定の6(2)により他の加盟団体の者と組むことが出来る。

## 4. チームの編成

男女とも、監督1名、選手3～5名、コーチ1名を登録することができる。

## 5. 競技方法

- (1) 団体戦は参加数により、以下の方法で行う。  
但し参加状況により競技方法を変更することがある。
  - ・ 6チーム以上の場合、いくつかのブロックに分けた予選リーグ戦とし、各ブロック1位、もしくは1、2位チームがトーナメント戦出場とする。但し、会場や時間などの都合により参加状況によってはトーナメント戦になることもありえる。
  - ・ 5チーム以下の場合、総当りリーグ戦とする。
- (2) リーグ戦の順位決定は勝者2点、敗者1点、棄権0点で得点計算をして決定する。(現行日本卓球ルールによる)
- (3) 勝敗の決定(団体戦)は、各11点5ゲームマッチ(3ゲーム先取勝)とする。
- (4) 団体戦は、男女とも世界選手権の団体戦方式とし、3名のシングルスによって試合を行い、男女とも3点先取勝とする。

(例)

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| A | B | C | A | B |
|   |   |   |   |   |
| X | Y | Z | Y | X |

- (5) 個人戦、ダブルス戦ともトーナメント方式で行う。但し、個人戦のシニアの部は参加状況により、競技方法を変更することがある。(決定は競技主管で行う)
- ・ 一般個人戦の1回戦から準々決勝までは、11 点5ゲームマッチ(3ゲーム先取勝)、準決勝、決勝戦は 11 点7ゲームマッチ(4ゲーム先取勝)にて行う。
  - ・ シニア個人戦、ダブルス戦は 11 点5ゲームマッチ(3ゲーム先取勝)にて行う。
- (6) タイムアウト適用については、競技主管で決定するものとする。

## 6. 申し合わせ事項

- (1) 一般の部、シニアの部競技者の半袖シャツ、ショーツ、スカートは、JTTA の公認マーク付きのものを使用すること。
- (2) 半袖シャツは団体戦やダブルス戦の場合、全ての試合において、チーム又はパートナーは同一の柄の半袖シャツ着用とすること。ショーツは同色であれば、よいとする。
- (3) ゼッケンは、JTTA 公認のゼッケンか、下図の様式の通り作成し、背部に着用すること。

|         |
|---------|
| 名前      |
| (都道府県名) |

縦 21cm 横 28cm

(生地は白であること)

- (4) 会場及び時間の都合、または参加チーム及び選手が多いあるいは少ない場合、試合方式を変更することがある。(場合によっては中止することもある)
- (5) 個人参加申込みについては、ベスト8、16 選手同士の組み合わせを考慮するために戦歴を参考欄に記入すること。
- (6) 試合中のアドバイスについてはアドバイザー1名のみベンチに入れるものとする。(アドバイザーは競技者と共にベンチに入れること)

(7)招集について、試合開始の 5 分前には選手待合所に集合とする。相手が来ない場合でも審判員と選手がコートに入り、そのコートに来ない選手名を記入した立て札を置いて 5 分間待つが、それでも来ない場合、その選手を棄権とみなす。

## 7. 使用球

ボールは JTTA 公認の 40 ミリボールを使用する。(使用球のメーカーは主管協会が決めるものとする。色は白とする。)

## 8. 組み合わせ方法

- (1) 団体戦の組み合わせは、監督・主将等合同会議において、もしくは参加申し込み締め切り後、実行委員会と競技主管団体、技術委員、審判長の立会いのもとで、代理抽選により決定する。
- (2) 個人戦とダブルス戦の組み合わせは、参加申し込み締め切り後、(1) と同様のもとで、代理抽選により決定する。
- (3) シードは下記の通りとする。シード並びは現行日本卓球ルールに従うこと。

男女団体戦…前回ベスト 4 まで

男女個人戦…参加人数 28 人以下の場合は、前回ベスト 4 までとする

参加人数 29 人～56 人以下の場合は、前回ベスト 8 までとする

参加人数 57 人以上の場合は前回ベスト 16 までとする

男女混合ダブルス…前回ベスト4まで(但しパートナーの変更は不可)  
個人戦…各種目ともひとつのエリアに同じブロック選手、または同じ加盟団体選手が集中しないよう、配慮すること。

#### 9. 表彰

- (1) 団体戦は優勝チームに優勝旗(持ち回り)・賞状・メダルを、2位・3位チームには賞状・メダルを授与する。
- (2) 個人戦とダブルス戦は、1位から3位までに賞状・メダルを授与する。
- (3) 種目ごとに競技終了後、表彰式を行う。

#### 10. 注意事項

- (1) 団体・シングルス・ダブルス戦の参加申し込みについては、備考欄に戦歴を記入とのこと。特にシングルの申し込みには、一般とシニアの区別を明らかにすること。
- (2) ダブルス同意書は、参加申込みと同様、通常締め切りとする。
- (3) 競技進行はタイム・テーブルによって行うので、各自の出場時間及びコートを予め確認しておくこと。しかし進行の都合で試合予定のコートや時間を変更することがあるので、その場合、競技者は競技役員の指示に従うこと。
- (4) 団体戦のオーダーは、第1試合は〔 〕時(監督・主将等合同会議にて決定)、第2試合以降は対戦チームが決定次第直ちに提出すること。
- (5) その他については、大会本部又は競技役員の指示に従うこと。

#### 11. 本要項の改正

- ・ 一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会
- ・ 一部改正 2005年2月27日 第7回全国委員会
- ・ 一部改正 2007年3月9日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2008年2月3日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2009年2月8日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2011年2月6日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2012年2月5日 第3回本委員会